



「わあ～缶バッチだ！」受付で、今回受講する男の子が目を輝かせました。驚いたことは缶バッチに写る3種類のロケット名を言い当てたこと。意欲全開で臨む子供の姿勢がそこにありました。

宇宙の学校へようこそ！

開校式では、安来市地域振興課長 青戸厚志さんから、この「宇宙の学校」では身の回りにあるものを利用して、家ではできない工作や実験を親子で一緒に楽しく学びます。

また、一緒に「気づいたり」「調べたり」「学んだり」する中で、親子の絆を深めるとともに、子どもさんが持っている好奇心の芽を大きく伸ばしてあげてほしいとごあいさつなさいました。

次に島根大学教育学部香川講師が島根大学生たちとともに、「宇宙の学校」のスケジュールの進め方について詳しく解説しました。この教室の数回ある集まりを「スクーリング」と呼び、その「スクーリング」には家族で参加することに意味があることや、一緒に宇宙のお話を聞き、子どもの考える力を引き出すために、親が先生として関わる大切さを話されました。



大人たちには、本講義の目的やねらいの解説をされました。



また、子供たちにアンケートを実施するなど今年度初めての企画もありました。



さあ！

いよいよ、科学のお話です。

「ロケットってどうやって飛ぶと思う？」「自由に答えてみて？」香川講師率いるゼミ生の声が元気にホールに響きます。

科学の魔法でしょうか。

今年もやっぱり子供たちが興味を持ち始めました。

無限の想像力を膨らませて

「風力」「重力」「先を細くする」次々と答えが飛び交います。



まずは一期一会ともいいます。



今日出会ったお友達、グループになったお友達、
みんなで名前交換しましょう。
島大生さんも、ノリノリですね。

第1回 スクーリング かざみどり

風の方を向くひみつをさぐる





まずは風の向きによって、中心（力点）が頭にある時、体にある時、しっぽにある時どんな動きをするのか考えよう。

グループで様々な意見を出し合います。

模造紙に意見をまとめる子。親子が手招きで話し合う姿。この瞬間、大人も子供も一つになりました。

島根大学の学生も子供たちを補助しながら、科学の面白さに導きます。

宇宙の学校のねらいがそこにありました。



実際、かざみどりを作ってみよう。



風向と風速（ここでは扇風機を使ったよ）によってどうなったかな。



「かざみどりの向きが分かったよ。」
「風の速さでくるくるまわったよ。」
「動かんよ・・・」

いろんな声が聞こえてきました



風向とかざみどりの関係を分かりやすく話してくれた島大生。



かざみどりの動きによって、風向がわかる・・・
みんなが聞き入っていましたね。



今日のスクーリングはどうでしたか。
風力について、いろいろな発見がありましたね。
また2週間後、みんなに会えるのを楽しみにしています。
元気で、参加してくださいね。
第1回は大成功でした。